

平成27年8月31日～9月13日までの全国の暑さ指数（WBGT）の観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について
（お知らせ）（平成27年度第17報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について情報提供をしております。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約150地点について、過去1週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行っております。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 8月31日～9月13日の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数31℃以上（危険）の時間数（168時間中）

1. 南大東島（沖縄県）	28時間
2. 石垣島（沖縄県）	17時間
3. 与那国島（沖縄県）	11時間
4. 久米島（沖縄県）	11時間
5. 名護（鹿児島県）	7時間

<参考>全国9都市の観測地点

札幌（北海道）	0時間
仙台（宮城県）	0時間
新潟（新潟県）	0時間
東京（東京都）	0時間
名古屋（愛知県）	0時間
大阪（大阪府）	0時間
広島（広島県）	0時間
福岡（福岡県）	0時間
鹿児島（鹿児島県）	0時間

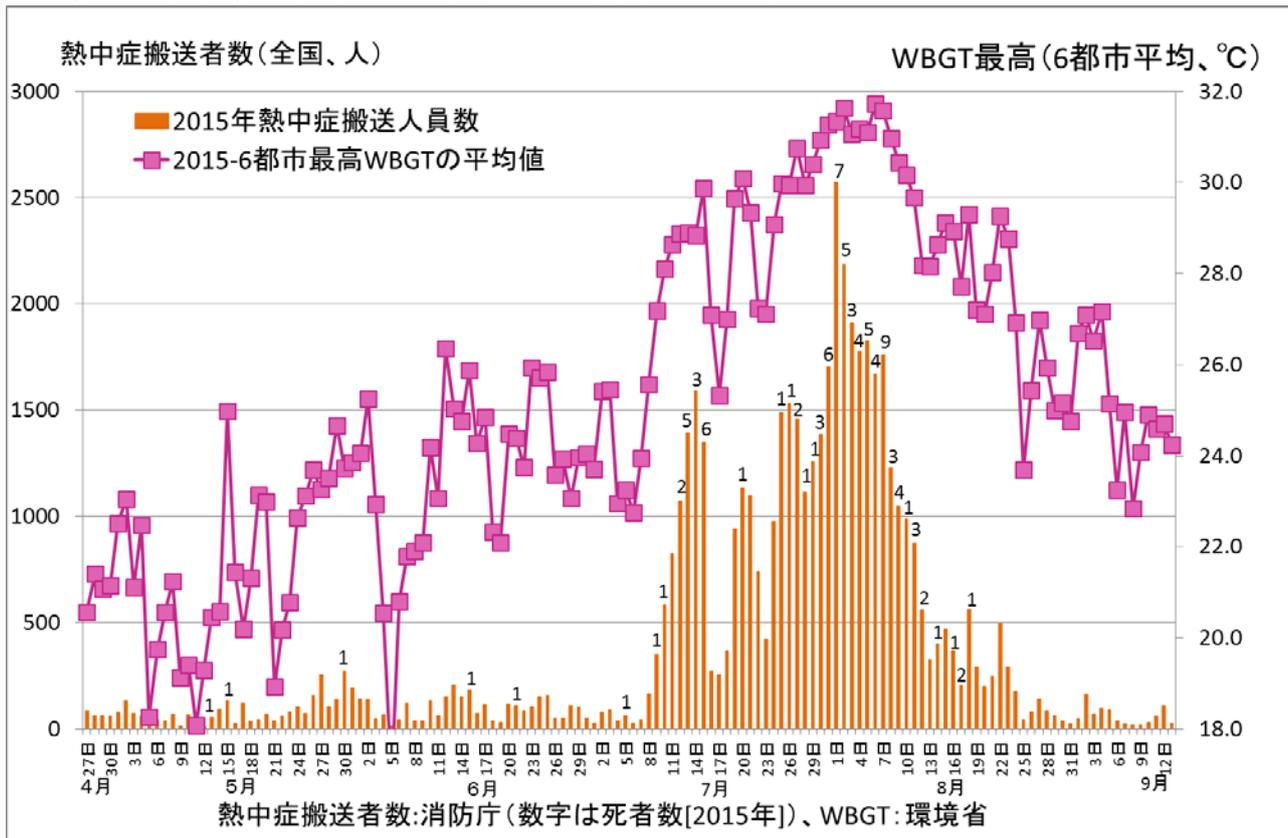
（注1）暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。

（注2）暑さ指数31℃以上とは、（公財）日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

暑さ指数31℃以上を上記5都市で観測したのは、ほとんど8月31日から9月6日までの週で、先週（9月7日から13日）は南大東島の2時間のみでした。

3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、8月31日～9月13日までの期間中は、概ね25°C以下と低く経過しました。消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送者数は、ほぼ100名以下で推移しました。
- 関東、東海の一部と九州及び沖縄県では、暑さ指数(WBGT)が28°Cを超えた時間帯がありましたが、期間後半には全153地点中10地点以下となるなど、全国的には例年に比べ、低めの傾向となっています。
- 気象庁発表(9月10日11時時点)の週間天気予報では、「最高気温・最低気温ともに、北日本では平年並か平年より高い見込みですが、期間の前半は平年より低い所があるでしょう。東日本から沖縄・奄美は平年並か平年より低く、平年よりかなり低い所もある見込みです。」とされています。
- 気温が低めに経過する地方が多いですが、南西諸島では、引き続き熱中症に警戒が必要な暑さの日が見込まれます。屋外活動など普段と異なる行動をとる際には、無理をせず、こまめな水分補給や休息をとってください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。

6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡